

# 東北地方 1か月予報

(12月30日から1月29日までの天候見通し)

平成18年12月29日  
仙台管区気象台発表

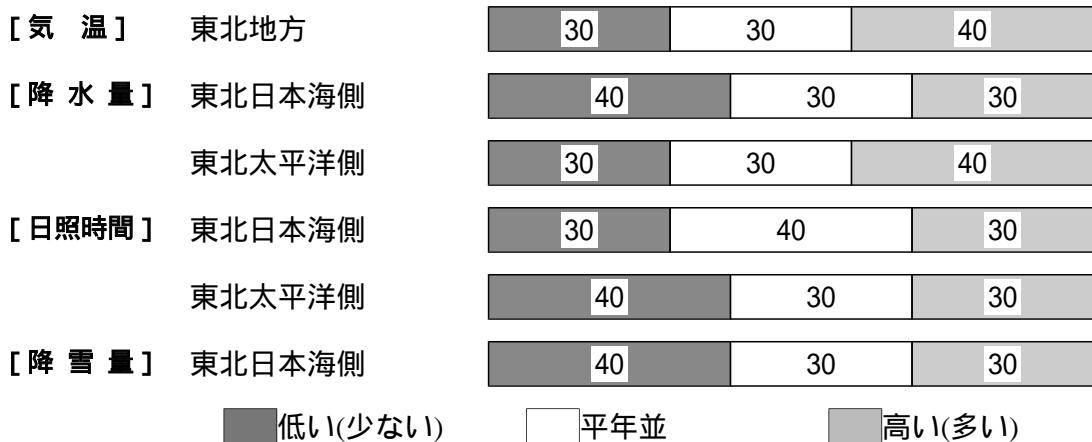
## <特に注意を要する事項>

期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。

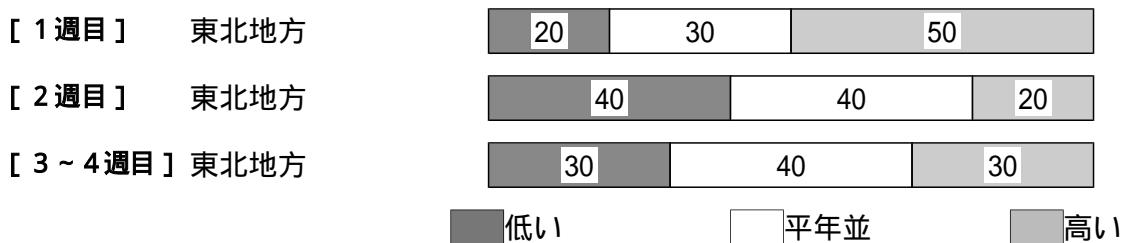
## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
期間のはじめは、日本付近を数日の周期で気圧の谷が通過し冬型の気圧配置となる日は少ないでしょう。  
2週目以降は寒気が南下し冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。  
週別の気温は、1週目は高い確率が50%、2週目は平年並または低い確率がともに40%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1か月 : 12月30日(土) ~ 1月29日(月)  
1週目 : 12月30日(土) ~ 1月5日(金)  
2週目 : 1月6日(土) ~ 1月12日(金)  
3~4週目 : 1月13日(土) ~ 1月26日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は1月5日  
3か月予報:1月25日(木) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-1.2	145.6	56.7	249	-0.4	-0.9	-1.6
深浦	-0.1	98.8	31.6	122	0.9	0.2	-0.6
むつ	-1.3	94.2	76.8	164	-0.4	-1.0	-1.8
八戸	-1.0	48.3	133.2	98	-0.1	-0.6	-1.4
秋田	0.1	118.5	45.7	138	1.0	0.4	-0.3
盛岡	-1.9	52.4	122.8	108	-1.0	-1.7	-2.3
大船渡	0.9	44.5	148.2	21	1.8	1.2	0.4
宮古	0.4	52.1	161.3	36	1.4	0.8	0.0
仙台	1.7	33.6	150.9	31	2.5	1.9	1.3
石巻	0.7	34.5	166.1	3	1.6	1.0	0.3
山形	-0.3	76.6	89.1	160	0.6	-0.1	-0.8
新庄	-1.2	184.1	42.3	277	-0.4	-1.0	-1.5
酒田	1.6	156.2	40.3	139	2.7	1.9	1.2
福島	1.6	45.1	135.1	86	2.4	1.8	1.2
若松	-0.5	81.3	79.2	181	0.2	-0.3	-0.9
白河	0.3	31.1	160.6	58	1.1	0.6	-0.1
小名浜	3.7	47.0	188.7	0	4.5	4.0	3.3

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3～+0.6	74～103	97～106	86～103
東北日本海側	-0.3～+0.5	91～109	95～110	93～112
東北太平洋側	-0.3～+0.7	58～101	96～104	72～101

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.4～+0.8	-0.7～+0.7	-0.6～+0.9
東北日本海側	-0.5～+0.8	-0.8～+0.7	-0.5～+0.8
東北太平洋側	-0.5～+0.9	-0.7～+0.8	-0.6～+0.9

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成18年12月29日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(12月30日~1月29日):

期間のはじめは、日本付近を数日の周期で気圧の谷が通過し冬型の気圧配置となる日は少ないでしょう。2週目以降は寒気が南下し冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

### 1週目(12月30日~1月5日):

東北日本海側では寒気や気圧の谷の影響で雪や雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では期間の前半は高気圧に覆われて晴れますか、期間の後半は気圧の谷の影響で雨または雪の日がある見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

### 2週目(1月6日~1月12日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。一時強い寒気が南下する見込みです。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

### 3~4週目(1月13日~1月26日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

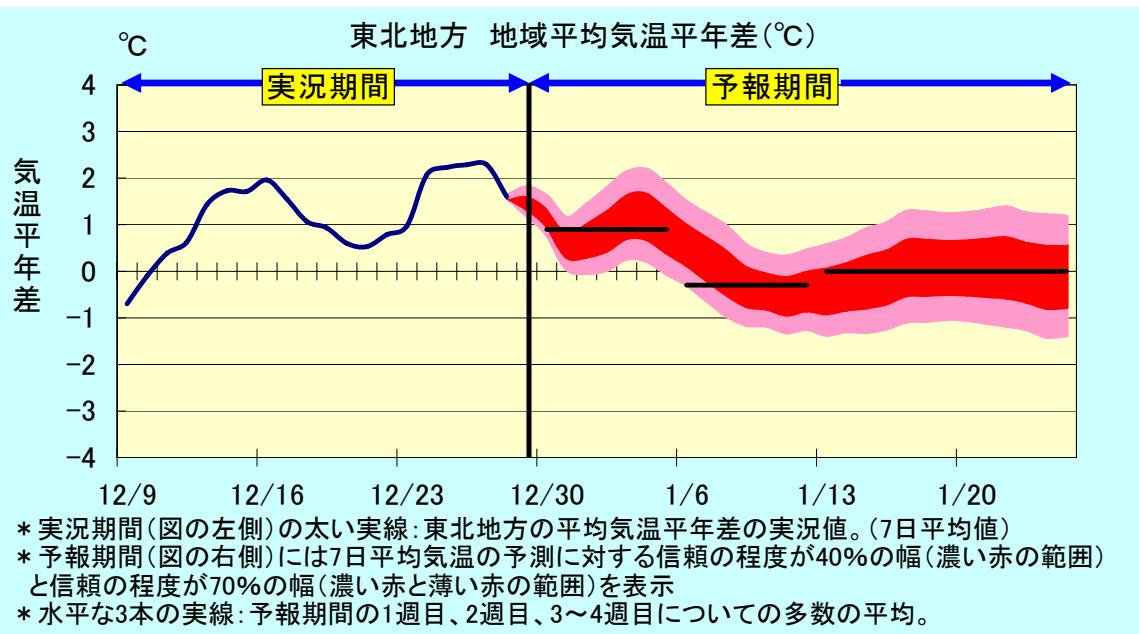
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

#### 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	4.6日	1.1日	1.1日	2.4日
東北太平洋側	17.6日	4.2日	4.4日	9.0日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を上回るが、2週目、3~4週目は平年付近の予想となっている。なお、数値予報の信頼度は小さい。

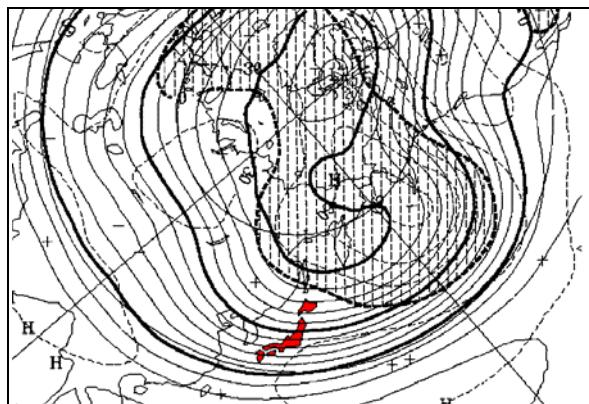


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：日本付近は南東海上を中心に正偏差となるが、日本の北には負偏差域もあることから、一時的に強い寒気の南下も予想される。

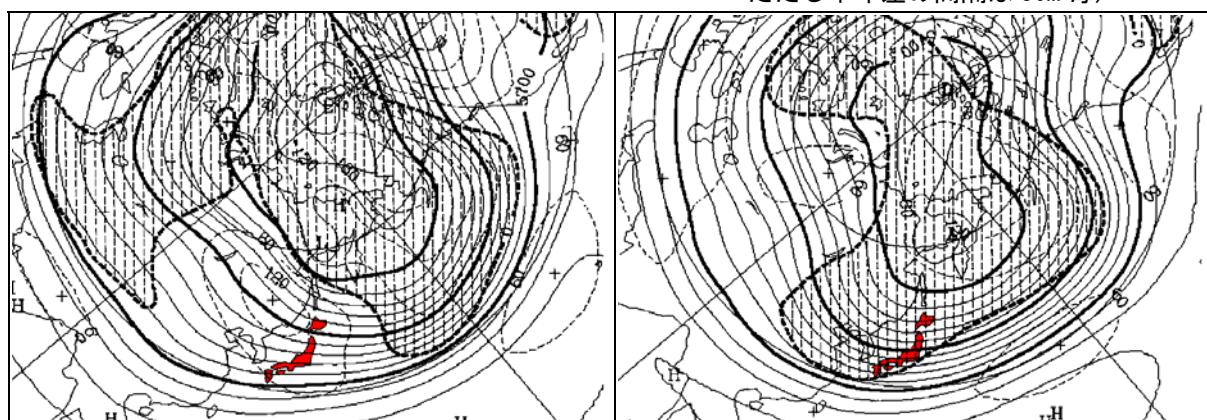
1週目：北極付近は負偏差で寒気の蓄積傾向が見られる。また、日本付近は中国東北区付近に中心を持つ正偏差に覆われ高温傾向。

2週目：日本付近は1週目と違って負偏差となる。バイカル湖の東付近から日本付近にかけて負偏差となっていることから西回りの寒気の南下が予想される。気温は、平年並か低温傾向となる見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ  
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

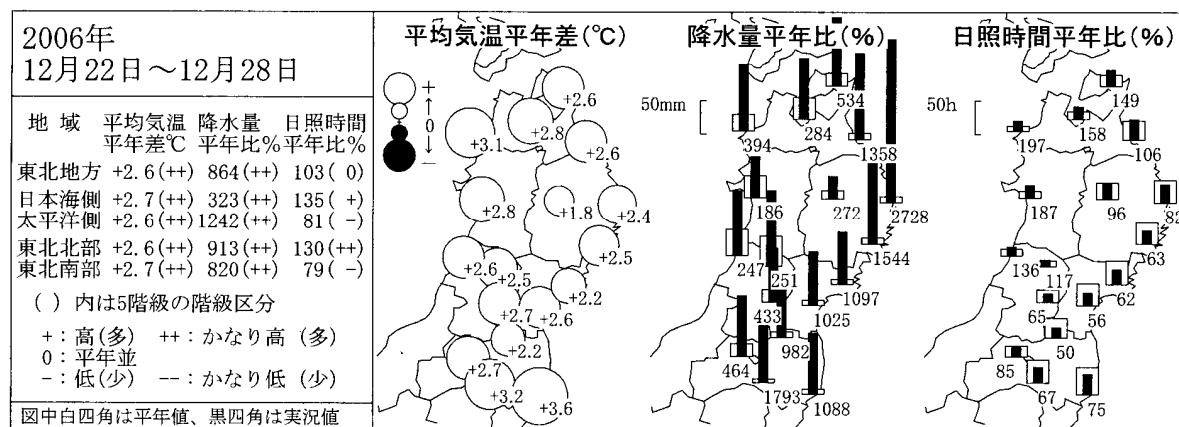
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する

白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間 (12月22日～12月28日) の天候の経過

期間の前半は一時的に冬型の天気分布の日もあったが、高気圧に覆われて晴れの日もあった。期間の後半は、本州南岸から太平洋沿岸を発達しながら進む低気圧の影響で大荒れの天気となった。宮古で月最大24時間降水量245ミリを観測し、これまでの12月の極値153ミリ（1990年12月1日）を大幅に更新するなど、東北太平洋側を中心に12月としては記録的な大雨となった。また、これにより河川の増水による浸水害、強風による家屋破損や停電、鉄道の運休など各地で被害が出た。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北北部でかなり多く、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

## 5. 寒候期 季節現象(初日)

2006/2007年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	11.19	10.23	10.27	11.20	10.29	11.16	11.12	11.7	11.8
八戸	11.2	10.27	11.16	11.19	11.2	11.16	11.12	11.11	11.15
秋田	11.19	11.6	11.21	11.19	11.13	11.21	11.16	11.12	11.15
盛岡	10.22	10.18	10.26	11.2	10.24	11.1	11.12	11.8	11.15
宮古	11.18	10.31	11.10	11.18	11.5	11.10	11.30	11.16	11.30
仙台	11.18	11.06	11.20	11.19	11.16	12.3	12.2	11.22	12.3
山形	11.9	10.24	11.1	11.19	10.29	11.1	12.1	11.16	11.19
酒田	11.19	11.12	12.6	11.19	11.20	12.6	12.1	11.17	11.30
福島	11.19	11.6	11.17	11.19	11.11	11.17	12.3	11.24	12.3
若松	11.19	10.28	11.1	11.19	11.6	11.1	11.12	11.17	11.16
小名浜	11.25	11.11	11.18	11.25	11.19	11.21		12.13	12.15

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハツコウダサン 八甲田山	1584	11.8	10.16	11.8	ガンドサン 雁戸山	1485	11.8	10.28	11.10
イワキサン 岩木山	1625	11.8	10.15	11.9	リュウザン 滝山	1362	11.8	10.30	11.10
ハシカミダケ 階上岳	740	11.30	11.12	11.19	イズミガダケ 泉ヶ岳	1175	11.8	11.6	11.9
タイハイイサン 太平山	1170	11.12	10.31	11.9	ザオウザン 蔵王山	1841	11.8	10.23	10.24
イワテサン 岩手山	2038	10.9	10.13	10.24	アツマヤマ 吾妻山	1949	11.8	10.21	10.23
チヨウカイイサン 鳥海山	2236	10.9	10.9	10.25	イイデサン 飯豊山	2105	11.8	10.17	10.24
ガッサン 月山	1984	11.8	10.15	10.26	パンダイサン 磐梯山	1819	11.8	10.24	11.9
アサヒダケ 朝日岳	1870	11.8	10.19	11.10					

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。

\* 大船渡測候所が平成18年10月1日に特別地域気象観測所へ移行をしたことに伴い、大船渡における寒候期季節現象および五葉山の初冠雪の観測は終了しました。

## お知らせ

### 平成19年の季節予報発表日について

平成19年の季節予報発表日は次のとおりです。

	1か月予報	3か月予報	暖候期予報	寒候期予報
1月	5日、12日、19日、26日	25日		
2月	2日、9日、16日、23日	22日	22日	
3月	2日、9日、16日、23日、30日	22日		
4月	6日、13日、20日、27日	25日		
5月	4日、11日、18日、25日	24日		
6月	1日、8日、15日、22日、29日	25日		
7月	6日、13日、20日、27日	25日		
8月	3日、10日、17日、24日、31日	23日		
9月	7日、14日、21日、28日	25日		25日
10月	5日、12日、19日、26日	25日		
11月	2日、9日、16日、23日、30日	22日		
12月	7日、14日、21日、28日	25日		

この件に関するお問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係

Tel : 022-297-8110